

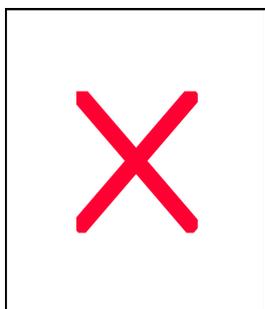
2006年10月15日プレスリリース
山口情報芸術センター(YCAM) presents



Small apple [山口]

花沙 [大阪]

高野美和子 [東京]



江藤由紀子 [山口]



三浦宏之 [東京]



宇都宮忍・高橋砂織 (yummydance)
[松山]

JCDN 全国パフォーマンススペース間のダンス巡回プロジェクト

踊りに行くぜ!!! vol.7

2006年12月9日(土)19:00 開演
山口情報芸術センター スタジオ B

山口公演主催：財団法人山口市文化振興財団

助成：アサヒビール芸術文化財団

協賛：トヨタ自動車株式会社

協力：アサヒビール株式会社

山口公演企画制作：山口情報芸術センター

平成18年度文化庁芸術団体人材育成事業

全体企画・制作・主催：NPO法人 Japan Contemporary Dance Network



山口情報芸術センターでは、地元のダンスシーンに注目し、他県のダンスアーティストとの交流と公演を行う「踊りに行くぜ！！～全国パフォーマンススペース間のダンス巡回プロジェクト～」を、昨年引き続き開催します。

これまでに京都の”砂連尾理+寺田みさこ”や、広島の”身体表現サークル”など、いま日本のコンテンポラリーダンスシーンで、注目のアーティストがこの「踊りに行くぜ！！」から誕生。このプロジェクトは、新進のダンスアーティストの発掘から、日本のコンテンポラリーダンスシーンの一覧まで、幅広くダンスの現在を感じることでできるイベントです。今年札幌から沖縄まで全21カ所で開催、40組が参加します。

山口情報芸術センターでの「踊りに行くぜ!!」には、地元で活動する山口大学出身の江藤由紀子、山口きらら博のダンス指導アシスタントをした田村真樹子率いるSmall appleの2組と、東京、松山、大阪でも注目のアーティストが参加し、総勢6組が作品を披露します。

「踊りに行くぜ！！」山口公演は、山口を拠点に作品制作を行うダンスアーティストを支援し、山口発信のダンスシーンを創出していきます。

【出演アーティストプロフィール】

※50音順 プログラムは当日公開します。

宇都宮忍・高橋砂織 ^{ヤミーダンス}(yummydance) [松山]

作品タイトル:「エイムデプス」

振付・出演:宇都宮忍 / 出演 高橋砂織

作品コメント:

視覚の奥 意識の奥 細胞の奥 その奥にたどりつくまで、どこまで奥がねらえるのか。

プロフィール:

宇都宮・高橋ともに、松山を拠点に活動するyummydanceのメンバー。2005年トヨタコレオグラフィアワード最終選考会、Danspace Project公演(N.Y)等に出演。宇都宮は、2003年STスポット「ラボ20#15」にてラボアワード受賞。高橋は、星加昌紀とのデュオ、ハニーサークルで2006年AJDX若手振付家交流プロジェクトに選ばれ大阪・松山・シドニーにて公演を行う。

江藤由紀子 [山口] ※2006年山口選考会にて選出

作品タイトル:「砂遊び」

振付・出演:江藤由紀子

作品コメント:

砂の不定感に麻痺した人間。だんだんと人なのか、物なのか、わからなくなっていく。受け入れることで感情がなくなってしまったことの幸せ。

プロフィール:

福岡県出身、山口県在住。2006年4月、YCAMで開催した山田うん振付ワークショップ参加を機に、「踊りに行くぜ！！vol.7」に応募。ダンス作品を初めて作る。同年8月、北九州芸術劇場で行われた「ダンスラボ2006 BARBABAR」に参加。作ったものの反響がすべて自分の身に返ってくるという状態はいいなと思う。

Small apple [山口] ※2006年山口選考会にて選出

作品タイトル:「あな」

振付・出演:田村真樹子 / 出演:藤原岳、遠藤明日香

作品コメント:

ちょうどいいのは苦しくて気持ちいい。 やっと息ができるくらいがほっとする。 出られるか出られないかぎりぎりの幅がほしい。

プロフィール:

田村真樹子が作品ごとに仲間を探すカンパニー。山口生まれ。山口から東京へ逃亡。大学にて舞踊、演劇を学ぶ。自己表現に限界を感じ、2004年NYへ逃亡。帰国後、Small appleを1人で結成。寂しくなったので、2人仲間を捕まえる。最近逃亡癖はないが、治ったかは疑問。

高野美和子 [東京]

作品タイトル:「Flatinum Body フラチ不埒なボディ身体」

振付・出演:高野美和子

作品コメント:

とき澄まされて、底はすべり、捉えるそばから逃げていく。委ねて、攻めて、曝してみる。 ……昨年横浜で行われたBankART Cafe Live Seriesで上演したソロの短縮バージョン。

プロフィール:

1990年より村井千枝、林貞之などの活動に参加。1995年、英国ラバンセンターにてダンスDiplomaを取得後、エティエンヌ・ドゥクルー直系のマイムを学ぶ。2003年、横浜ソロ×デュオコンペティションにて特別賞を受賞後、踊りに行くぜ!!vol.4、ネクストネクスト4、日韓ダンスコンタクトなどに出品。2004年、トヨタコレオグラフィーアワードにてオーディエンス賞を受賞。2005年度セッションハウス・レジデンスアーティスト。time and locus主宰。

花沙 [大阪]

作品タイトル:「あいだ 舞ひ そのさん」

振付・出演:花沙

作品コメント:

みっともなさ、上品さ、奇妙さ、・・さまざまな動きの質の「あいだ」にあえてとどまってみる。「見られている」ことを知っている「女」の踊り。

プロフィール:

幼少よりカラダが醸し出す表現性に魅了され踊りを始める。神戸大学大学院・身体行動論講座にて身体教育史・舞踊史等を修め、2000年よりエメスズキDANCE PACEの活動に参加。その活動の一環である座談会的なワークショップ「DANCE SALON」(主催:エメスズキ)では、舞踊史他のレクチャー等で参加。無感覚・無意識に制度化される身体の状況を語り得る、「肉つき」の言葉を模索するために、研究活動と、ダンス公演活動との往来に努めている。

三浦宏之 [東京]

作品タイトル:「SAD MAD HEAVY MOON」

振付・出演:三浦宏之

作品コメント:

いつからか奴がずっとくっついてきやがる。「頭の中に鼠がいてムシクシヤしてたし文明が衝突で誰でもよかったからアクセルとブレーキを踏み間違えて埋めました。」何なんだそりゃ?!奴は見てるぜ。お月さん。

プロフィール:

1999年にM-laboratoryを結成。これまでに14作品を振付し2005年東京コンペ#2にて優秀賞受賞。2002年よりソロワーク「たびお」シリーズを開始。11作品を発表し、2005年ソロ×デュオコンペティション+にてナショナル協議員賞受賞。韓国コンテンポラリーダンスフェスティバル参加。「踊りに行くぜ!! Vol.5」と同公演「Vol.6」参加。現在、神奈川総合産業高校でコンテンポラリーダンスの非常勤講師を務める。

[概要]

踊りに行くぜ！！vol.7

JCDN全国パフォーマンス間のダンス巡回プロジェクト

日時：2006年12月9日(土) 19:00開演(開城は開演の30分前)

※終演後、出演者によるポストトークを行います。

会場：山口情報芸術センター スタジオB

料金：全席自由 一般2,000円 any会員/学生/特別割引 1,500円 any学生 1,000円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット情報：プレイガイド発売 10月28日(土)～

山口市文化振興財団チケットインフォメーション 083-920-6111

※10:00～19:00 火曜休館(11月7日を除く。11月11日は臨時休館)

ローソンチケット 0570-084-006(Lコード 62141)

お問い合わせ：山口情報芸術センター(企画：岸、四元(よつもと) 広報：小滝)

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216

E-mail：information@ycam.jp http://www.ycam.jp/ http://mobile.ycam.jp/

■特別割引について

特別割引は、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。山口情報芸術センター、山口市民会館、山口南総合センターのみの販売となります。

■託児サービス

対象：0才(6ヶ月)以上 託児時間：開演の30分前から終演後30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：12月2日(土)までに上記チケットインフォメーションまでお申し込みください。

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

■JR新山口駅から

- ・JR山口線湯田温泉駅下車、徒歩20分/タクシー5分
- ・JR山口線山口駅下車、徒歩20分/バス10分(中園町か済生会病院前下車)/タクシー5分
- ・防長バス25分、中園町下車

■自動車利用

- ・山陽自動車道で防府東ICから30分 ・九州・中国自動車道で小郡ICから15分